

毎日投稿しても無反応

文章は丁寧に整えている / ハッシュタグも工夫している

それでも誰にも届かない

見てほしいのに見られない
自信だけが削れていく

原因は「相手不在」の投稿

「焦点」のぼやけ

密度不足の原因

誰に向けたかが曖昧

- みんなに届けたい状態
- 言いたいことの垂れ流し
- 広すぎる対象設定

読者が自分ごと化できない
伝わる密度が落ちている

「広さ」の罨を捨てる

- × 広く届ければ伸びる
- × 多くの人向けが正解
- × 役立つ内容なら刺さる
- × 前向きな言葉なら届く

広げるほど言葉は薄まる

「一人に向ける」方が強い

相手を「一人」に絞る

顔が見える相手は誰か

過去の自分 / 最近話した相手 / 理想のクライアント

今の悩みが言える相手

その人「だけ」に向けて書く

言葉の解像度を極限まで上げる

「一人の本音」への接触

言葉の輪郭が出る
悩みに直で触れられる

- 読者が即座に反応
- 「これ私だ」が起きる
- 保存やDMが増える

投稿が「線」でつながる

肩書きも立ち上がる

今夜、一本だけ出す

1. 一人だけ決める
2. 顔が浮かぶ相手を選ぶ
3. 今の悩みを一文で書く
4. 欲しい未来を一文で書く

広い表現を削除
その相手に向けて一投稿

反応の差を確認する

投稿前の「一人」点検

- ☐ 誰に向けた投稿か一文で言えるか
- ☐ その人の悩みは具体的か
- ☐ 広すぎる言葉が混ざっていないか
- ☐ 誰にでも当てはまる内容になっていないか
- ☐ 一人の顔が見えているか

曖昧なら投稿しない

「点」を「線」に変える

- 一人に刺さる投稿を続ける
- 反応した相手を記録
- 届けたい人を固定
- 肩書きの方向を揃える

必要なら軸から整える

必要な人だけ次へ